

音楽学部

教養部会准教授 大田 高輝

1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称・著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等・論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
「占領下公民館史研究序説(11) - 制定時社会教育法における公民館の住民自治・住民参加規定の形成と J. M. ネルソンの役割 -」	2011. 3. 22	『名古屋芸術大学研究紀要第 32 巻』	GHQ/SCAP・CI&E 成人教育担当官の J.M. ネルソンが、公民館構想の検討過程から制定時社会教育法の検討過程に至るまで、文部省社会教育局職員らと協議する中で、公民館の住民自治・住民参加規定に関して、いかに関与して影響を与えたかを実証した研究論文。
「愛知軍政部月例報告翻訳(その 6)」(共同翻訳研究)	2011. 3	名古屋大学大学院教育発達科学研究科社会・生涯教育学研究室『社会教育研究年報 第 25 号』	共同研究者：新海英行、石井拓児、榊原博美、林恭子、村瀬桃子。日本占領下の愛知軍政部・民事部の月例報告のうち、1949 年 7 月と同年 8 月の分の民間教育と民間情報部分を翻訳した研究。
「障がい者社会教育の研究」	未発表	未発表	精神障がい者の地域生活と社会教育の果たす役割に関して、在住地域の精神障がい者団体とかかわって、課題意識をさらに深めている。
「民衆芸能教育の研究」	未発表	未発表	民衆芸能教育の研究として現地踏査は継続していると同時に、在住地域に実践の場を設定してかかわりを始めている。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等	g その他教育活動上特筆すべき事項	
授業科目 教育方法論 ◆前期 ◆後期		
工夫の概要		教材・資料等の概要
学生の学習の自由を最大限に保障するために、感受性を十二分に働かせた、基本的に自由記述に近い「感想文」を多く書いてもらっている。その触発教材として、「教育方法」を意識できる視聴覚教材を精選した上でふんだんに活用しており、知性のみならず感性も働かせて、授業に主体的に参画できる工夫を行っている。		視聴覚教材の精選されたもののほか、その参考資料として活字で表現した各教材の参考プリントも必ず作成・配布して参考に供している。また、オーソドックスなプリント学習用の教育方法論資料シリーズも作成・配布している。

授業科目 教育課程論	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
学生の主体性を引き出すために、教育内容編成に学生の意向を反映させることができるように工夫しており、感想を書いてもらう折などに、講義（内容）に対する要望、意見、文句などを忌憚なく寄せてもらい、それらを柔軟に講義内容に反映させていくことを積極的に行っている。	精選された視聴覚教材を用意するほか、学生の感想の契機となるような各教材の参考プリントも必ず作成・配布している。また、教育課程論の基礎資料として、各種法令や学習指導要領に関するプリントを当然の如く作成・配布しているほか、感受性を刺激するような韻文のプリントも作成して、配布・解説している。

3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
日本教育学会	1987年～現在に至る	会員
日本社会教育学会	1985年～現在に至る	会員
日本教育法学会	1987年～現在に至る	会員
日本公民館学会	2005年～現在に至る	会員
民俗芸能学会	2008年～現在に至る	会員
社会教育推進全国協議会	1985年～現在に至る	会員
保育問題研究会	2008年～現在に至る	会員